

いつも一緒  
富山のペットたち

今回は、突然の痛みや四肢の麻痺などを起こし、寝たきりになってしまったこともある、犬の首の椎間板ヘルニアについてお話しさせていただきます。

椎間板ヘルニアというと、腰の病氣だと想像される方が多いかと思いますが、実際に犬の椎間板ヘルニアの多くは腰で発生しますが、全体の15%ほどは首で起きているといわれています。



椎間板ヘルニアはダックスフントなどの足が短い犬種がなりやすいのに対して、首のヘルニアはほぼ全ての犬種で発症する恐れがあります。

脊髄を圧迫

椎間板は、背骨と背骨の間にあるクッションのようなものです。何らかの力が椎間板に加わり、つぶれて中身が飛び出した状態のことを椎間板ヘルニアといっています。背骨の中心部は空洞になっており、脊髄という神経が通っています。クッションの中身が飛び出し、脊髄を圧迫すると、痛みや麻痺が生じます。飛び出した椎間板物質の量が多いほど、脊髄は強く圧迫され、麻痺が進行していきます。

症状は痛みだけの場合が多いのですが、四肢が麻痺してしまう歩けなくなったり、寝たきりになったりするケースもあります。手遅れになると呼吸もでき

増田 和明

ますだ動物病院院長  
(高岡市中曾根)

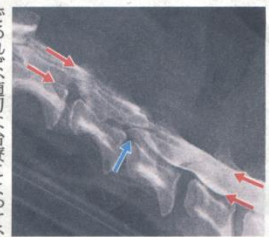
犬の首の椎間板ヘルニア

全犬種に発症リスク

犬の首の椎間板ヘルニアは、適切な治療で回復

今まではなかなか専門的な治療を受けられない病氣でした。現在はしっかりと治療を受けられれば、極めて高い確率で回復

なくなり、最悪の場合、亡くなってしまう。復が望めるようになりました。突然痛がる。「動きたがらなくなった」などの症状が現れた場合は、すぐに動物病院に相談することを勧めます。



首の椎間板ヘルニアを起している犬の脊椎造影写真。赤の矢印で示した白い部分が脊髄、青い矢印の先にあるのが飛び出した椎間板物質



④四肢が麻痺し、抱き上げても立てなくなった犬  
⑤飛び出した椎間板物質を取り除き、元気に歩けるようになった犬

病氣ですが、段差がある所から飛び降りないようしたり、肥満にならないよう、毎日の食生活に気を付けたり、家庭でも取

であれば、適切な治療によってほとんどの犬が元気に走れるようになります。

完全予防することは難しい

首の椎間板ヘルニアを起している犬の脊椎造影写真。赤の矢印で示した白い部分が脊髄、青い矢印の先にあるのが飛び出した椎間板物質

り組めることは少なくありません。わんちゃんにとっても、飼い主にとっても、元氣にお散歩できるのは、とても楽しく気持ちがいいことです。幸せな生活を守るためにも、首の椎間板ヘルニアについて、正しく理解していただきたいと思

なれば幸いです。

富山のペットたちは、毎月第一木曜日に掲載